

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして測定検査機器の老朽化及び検査受託数僅少に伴い、再委託にて検査受託を継続する運びとなりました。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】： 骨塩定量検査（DIP法）

【変更日】： 2024年11月1日(金)受付分より

【変更内容】

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
9020	骨塩定量検査（DIP法）	所要日数	3～5	2～4
		検査方法 (測定機器)	DIP法 (浜松朴ニクス社製・DIP-500)	同 左
		報告書	※裏面をご参照下さい	同 左

【変更理由】

弊社における測定検査機器の老朽化及び骨塩定量検査機器の院内導入とX線機器メーカーへの委託先変更に伴う受託数僅少のため。

これに伴い、所要日数及び報告書を変更させていただきます。

なお、検査依頼書の変更はございません。

※裏面に続きます

骨塩定量検査報告書

旧報告書

骨塩定量検査 (DIP法) 報告書

受診者用

コード 0000	病院名 サンプルクリニック	撮影日 H27年 4月 1日
ID 000002	氏名 カタカナ クメ ハナコ	性別 女
カルテNo. 256	身長 150.0 cm	体重 47.9 kg
生年月日 昭和41年 1月 1日(49才)	年齢相当%(Z値): 40.2%	YAM%(T値): 39.8%

あなたの骨量は **1.14** mmAl です

若い人と比較した値は **39.8** %です

同年代と比較した値は **40.2** %です

「骨粗しょう症」ってどんな病気？
「骨粗しょう症」とは年齢とともに骨の量が減って、骨がもろく、折れやすくなる病気です。更年期をむかえる女性に多く見られ、年をとる程起こりやすいといわれています。しかし恐るだけでは病気を防げません。そこで自分の骨が今どんな状態にあるのか文、「骨粗しょう症」がどうして起こるのかを知って、「骨粗しょう症」になりにくい生活習慣を身に付け元気で長生きするための努力を始めましょう。

検査日	H25.12.01	H26.04.01	H26.08.01	H26.12.01	H27.04.02
骨量 (mmAl)	1.21	1.14	1.14	1.20	1.14
若い人と比較した値	42.2	39.8	39.8	41.9	39.8
同年代と比較した値	42.7	40.2	40.2	42.3	40.2

今回の骨量は●印の所です

骨量の経過

検査日	H25.12.01	H26.04.01	H26.08.01	H26.12.01	H27.04.02
m-BMD(mmAl)	1.21	1.14	1.14	1.20	1.14
YAM%	42.2	39.8	39.8	41.9	39.8
MCI	0.259	0.266	0.266	0.259	0.266
右・左	左	左	左	左	左

原発性骨粗鬆症診断基準 (2012年度改定版より)

I. 脆弱性骨折あり	男YAM値	女YAM値
1. 椎体骨折または大腿骨近位部骨折あり	2.984	2.864
2. その他の脆弱性骨折あり、骨密度がYAMの80%未満		
II. 脆弱性骨折なし	骨密度がYAMの70%以下または-2.5SD以下	

測定コメント (注) 撮影時に測定部位が動いたり写っていた場合は、参考値となります。

検査責任者: 境 昌彦
久留米臨床検査センター Kurume Clinical Laboratories

次の検査は H27年 8月頃をおすすめします。

新報告書

骨塩定量検査報告書

受付No. 84000

コード 97 00 14520	施設名 サンプルクリニック	撮影日 04月 08日	時
氏名 ミナ ハナコ	性別 男・女 外・内	病種	受付日 R05年 04月 09日
生年月日 S24年 01月 01日生	年齢 74才	診療科目	報告日 R05年 04月 10日
カルテNo. 123456789	保険	透析	妊婦
		週	

撮影日	R03.04.18	R04.05.27	R05.04.08
骨密度[m-BMD]	2.25	2.10	1.95
骨量(対若年比)(%) ^{※1}	78.5	73.3	68.0
対年齢比(%) ^{※2}	103.5	96.6	89.7
MCI	0.350	0.331	0.328
左・右	左	左	左

注1: 20~44歳の平均値(YAM)との比較です。 注2: 年齢における基準値(平均値)との比較です。

今回の骨量は●印の所です

骨量の経過

検査日	H25.12.01	H26.04.01	H26.08.01	H26.12.01	H27.04.02
m-BMD(mmAl)	1.21	1.14	1.14	1.20	1.14
YAM%	42.2	39.8	39.8	41.9	39.8
MCI	0.259	0.266	0.266	0.259	0.266
右・左	左	左	左	左	左

原発性骨粗鬆症診断基準 (2012年度改定版より)

I. 脆弱性骨折あり	男YAM値	女YAM値
1. 椎体骨折または大腿骨近位部骨折あり	2.984	2.864
2. その他の脆弱性骨折あり、骨密度がYAMの80%未満		
II. 脆弱性骨折なし	骨密度がYAMの70%以下または-2.5SD以下	

測定コメント (注) 撮影時に測定部位が動いたり写っていた場合は、参考値となります。

検査責任者: 境 昌彦
久留米臨床検査センター Kurume Clinical Laboratories

次の検査は H27年 8月頃をおすすめします。